



初夏を彩る愛くるしい花

ポピー

春から初夏にかけて色鮮やかな花びらで見る人を楽しませてくれるポピー。花のサイズも大きく、群植すると迫力がある一方で、風に揺れる姿は愛らしく全国各地で観賞用として栽培されています。日本でよく見かけるポピーは主に「シヤレーポピー」「アイスランドポピー」「オリエンタルポピー」の3種類です。花言葉は、カラフルな花色や派手な花姿をイメージして「恋の予感」「陽気で優しい」などさまざまですが、睡眠導入

剤や麻酔薬として使用されている背景から「心の平静」「いたわり」といったものもあります。関西地区でも多くの観光スポットがあり、万博記念公園（大阪府吹田市）、富田林サバーファーム（大阪府富田林市）、兵庫県立公園あわじ花さじき（兵庫県淡路市）、兵庫県立フラワーセンター（兵庫県加西市）、道の駅あいとうマーガレットステーション（滋賀県東近江市）が有名です。

5/1	金	メーデー 大安
2	土	八十八夜
3	日	憲法記念日
4	月	みどりの日
5	火	こどもの日 立夏
6	水	振替休日
7	木	大安
8	金	世界赤十字デー
10	日	母の日
13	水	大安
18	月	大安
21	木	小満
24	日	大安
30	土	大安
31	日	世界禁煙デー
6/1	月	気象記念日 衣替え
4	木	歯と口の健康週間（～10日）
5	金	環境の日 大安
6	土	芒種
10	水	時の記念日

5月 シティ信金行事予定

- シティ信金写真会
8日 午前9時から 奈良西ノ京 薬師寺にて
- 内外情勢調査会 大阪シティ支部5月例会
22日 正午から 帝国ホテル大阪にて
講師：第一ライフ資産運用経済研究所 首席エコノミスト 熊野 英生 氏
- シティ経営者クラブ「令和8年度総会」
27日 午後5時から ホテルニューオータニ大阪にて
講師：早稲田大学 教授 中林 美恵子 氏
- シティトップランナークラブ「令和8年度総会」
6月3日 午後5時から 大阪ステーションホテルにて
講師：株式会社A and Live 代表取締役 高田 明 氏
- 地元への奉仕活動（清掃） 全店舗で実施

シティ信金協賛等行事予定

- 東海道五十七次コラボウォーク
「5月の風と歩く！枚方宿歴史ロード&淀川リバーサイドウォーク」
9日 枚方信用金庫・枚方公園前支店にて
- 第47回東大阪市民ふれあい祭り
10日 花園中央公園ほか

Monthly essay

それでも通わせたい

ド

キュメンタリー映画『小学校〜それは小さな社会〜』（2024年）で世界に名を馳せた山崎エマ監督が本を出した。「それでも息子を日本の小学校に通わせたい」（新潮新書、3月20日）本の前に、まず映画のおさらいを少し――。

英国人の父と日本人の母を持つ山崎さんは大阪・茨木市の小学校を卒業、神戸のインターナショナルスクールを経て米国の大学に進んだ。ニューヨークの映像制作会社に勤めて面食らった。なぜこんなにはめられるのか。遅刻しない、勤勉、周囲への配慮、責任感が強い、自己中心的でない……。日本では当たり前なのに。

茨木の6年間に思いが至った。カメラを東京都内の小学校に持ち込み、掃除、給食、行事など「勉強を超えた学び」を1年間撮り続けた。できた映画に

こんなキャッチコピーを付けた。「6歳児は世界のどこでも同じようだけれど、12歳になる頃には、日本の子どもは日本人になっっている」

世界で高い評価を受け、短編化した作品「Instruments of a Beating Heart」は昨年米アカデミー賞にノミネートされた。そして今年春、著書「それでも――」の刊行。

が、その学校が揺らいでいる。3〜4月の新聞記事だけでも「不登校小中学生35万人、12年連続で増大」「サポート校、通信高校に30万人」「通信制学生（18〜22歳）4万人、5年で倍増」。管理教育を嫌って海外移住した児童の例も紹介されている。

とりわけ日本経済新聞が先鋭である。「日本ははまだ、多様性、創造性、意思決定などを鍛えるどころか、子どもたちを教室で、一列に並べ直してしまっていないか」「世界の教室ははる

か先にまで進んでしまった」（3月24日朝刊）。AI時代の教育という視点からの厳しい指摘。それでは世界で勝てないと。

米国人の夫との間に生まれた3歳の息子が、同質性の強い日本の学校で苦労することを山崎さんは覚悟しているという。なぜ、「それでも」日本の小学校なのか。この辺りは読んでもらうしかない。ただ、茨木のマンモス小学校での原体験をこう書いている。「頑張って何かを達成することがもたらす充実感、仲間と力を合わせることの重要性、誰かの役に立つ喜び」。

映画「小学校〜それは小さな社会〜」が、今度は「米国で放送された番組」として第47回エミー賞にノミネートされた。発表は5月27日。受賞を期待したい。が、それ以上に、日本の学校を考え直す機会になることを期待したい。それでも通わせたいか。（わ）